



Title	大阪府赤十字血液センター
Author(s)	大阪府赤十字血液センター企画課
Citation	大阪公衆衛生. 1990, 57, p. 14-14
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83662
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大阪府赤十字血液センター

大阪府赤十字血液センター企画課



大阪府赤十字血液センターは、昭和31年5月、大阪赤十字病院附属大阪輸血研究所として創立されました。

現在は、大阪府赤十字血液センター（大阪市城東区）、大阪府南大阪赤十字血液センター（貝塚市）および大阪府北大阪赤十字血液センター（茨木市）の3つの血液センターが総合的に運営されています。献血受入れ施設は、3か所の血液センター以外に、府下主要ターミナルなどに5か所（門真・大阪駅前・あべの・堺東・京橋）の献血ルームを設置しています。また、18台の移動献血車が毎日、地域・職域・街頭などに出かけて、府民に献血を呼びかけています。そして、献血された血液はそれぞれの血液センターで検査・製剤化され、患者の待つ医療機関に34台の血液搬送用緊急車で迅速に供給されています。

新しい血液事業の目標

現在、日本で使用されている輸血用血液は、

国内の献血によってまかなわれていますが、血液中の血漿成分から特定のタンパク質を分離精製してつくる血漿分画製剤（血液凝固因子製剤、アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤など）のほとんどを輸入にたよっています。このような現状から、厚生省に設けられた新血液事業推進検討委員会では、当面の目標として、平成3年度をめどに緊急性の高い血液凝固因子製剤について国内献血による自給を達成するよう報告しています。この目標を達成するには、成分献血でえた血漿を確保していくことが必要です。

成分献血にご協力を

みなさんは成分献血をもう体験されましたか。成分献血とは、血液中の血漿や血小板という特定の成分だけを、装置を用いて採血する方法です。全血献血（200ml、400ml）に比べて、一人の献血者から必要な成分をより多く採血することが可能で、なおかつ特定の成分のみの採血であるため身体への負担も軽い、というメリットがあります。

成分献血に協力いただける場所は、各血液センター、あべの、堺東、京橋の献血ルームといった固定施設にかぎられていますが、企業の会議室や公民館などを借りておこなっている出張採血にも装置を携行するなど、みなさんが成分献血に接していただける機会を少しでも多くするようつとめています。血液センターでは、今後も、快適な環境で成分献血にご協力いただける献血ルームの増設や、機動力を生かした移動献血車で成分献血を計画しています。

府民が必要とする血液を、府民の献血でまかなうのはもちろんのこと、国内で必要とする血液も国内の献血でまかなえるよう、みなさんのご協力をお願いいたします。